

障害者サービスの始め方

－ PR の方法、具体的サービス事例、アクセシビリティを中心に－

杉田 正幸（大阪府立中央図書館）

この配布資料は以下の URL でリンク付きでご覧いただけます。

<http://www.j7p.net/ronbun/20181121jirei.html>

1. 障害者サービスを開始するための準備

1-1. 職員全体のサービス理解

都道府県立図書館の研修会や自治体内での研修会、関連する参考書籍での理解を図る

1-2. 情報収集

- ・ Facebook グループ「図書館の障害者サービス」

<http://www.j7p.net/fb/library/>

- ・ サピエと読書なんでも ML（愛称：サピ読）

<http://www.j7p.net/ml/sapidoku/>

- ・ 出版UD研究会メーリングリスト

<http://lists.ud-pub.org/mailman/listinfo/ml>

- ・ ブックマーカー メーリングリスト

<http://www.geocities.jp/telkyo/bookmarker/>

1-3. 先進館から学ぶ

見学・相談、都道府県立図書館の障害者サービス担当に問い合わせる

主な障害者サービスの事例：<http://www.j7p.net/ronbun/jirei.html>

1-4. 自館の状況から考える

施設・設備、職員、資料の状況からおこなうべきサービスを考える

1-5. 地域の利用者の状況から考える

人口・高齢化や障害者の状況などの地域の特性、特別支援学校の有無、障害者関連施設の有無などから考える

1-6. 関連する法規やガイドライン

著作権法、郵便規則、図書館の障害者サービスにおける著作権法第37条第3項に基づく著作物の複製等に関するガイドライン、録音（DAISY）資料製作に関する全国基準、公共図書館の障害者サービスにおける資料変換に係わる図書館協力者導入のためのガイドライン、図書館における障害を理由とする差別の解消の推進に関するガイドライン

1-7. 実施計画や規則などの作成

- ・実施プログラムの作成（サービスの内容、資料の購入・寄贈・相互貸借、資料製作、職員全体の役割分担、図書館協力者やボランティアとの連携など）
- ・予算化（施設設備の整備、障害者サービス資料や機器類の購入）
- ・障害者サービスの規則、要項等の整備

1-8. 障害者サービスの利用案内の作成

どのようなサービスや資料が利用可能かを説明（墨字版・拡大文字版・点字版・カセットテープ版・DAISY版・LL版・映像版・字幕入り版・手話入り版・ホームページでの利用案内など）

1-9. 障害者サービスのPR

- ・広く一般の人に障害者サービスをPRして口コミで利用してもらう（ホームページでの広報、障害者サービスの利用案内を様々なところに置く）
- ・市役所の福祉担当、ケースワーカー、福祉関係者、障害者団体、特別支援学校、養護施設、高齢者施設、ボランティア、ヘルパーなどへのPR
- ・墨字版・点字版・録音版の市報への掲載、マスコミを通じての宣伝
- ・福祉団体の発行する会報などでの障害者サービスの広報
- ・障害者団体の行事や集まりがあれば図書館から担当者が出向き、障害者サービスの利用説明をおこなう
- ・障害者への直接PR（口コミなどを含む）
- ・障害者サービス資料の展示会や機器体験会、障害者向けの図書館活用講座の開催、バリアフリー映画会の開催など

2. 『図書館利用に障害のある人々へのサービス』のアクセシブルな電子版について

2-1. 概要

電子書籍版の販売（2018 年 12 月を予定）

ダウンロード版：アンテナハウス オンラインショップ（購入には会員登録が必要）

https://web.antenna.co.jp/shop/html/products/list.php?category_id=156

メディア版：CD にて日本図書館協会から発売（予定）

形式：アクセシブルな電子版（リフロー型の EPUB 3 形式）

作成：デジタル出版物制作 Web サービス「CAS-UB」にて特定非営利活動法人支援技術開発機構「ATDO」が作成

2-2. 他の電子書籍にない特徴

(1) 他の電子書籍などに通常かけられている DRM（デジタルコンテンツの著作権を保護するために、その利用や複製などを制限する技術）をかけていないので、データの提供側のサービス中止などによって、再生が不可能になるというような心配がない。

(2) 視覚障害者もわかるよう、図や写真には代替テキストで説明がある。

(3) 原本のページ番号が挿入されているので、どちらを利用していても齟齬がない。

2-3. 電子書籍版の音声読み上げでの紹介

(1) iPhone 8 : iOS 12.0 + VoiceOver と「Dolphin EasyReader」(Dolphin Computer Access Ltd)

(2) Windows 10 の PC :

・スクリーンリーダーとして「Windows 10 ナレーター」(マイクロソフト)、デスクトップ & モバイル向け Web ブラウザ「Microsoft Edge」(マイクロソフト) の組み合わせ

・スクリーンリーダー「PC-Talker 10」(高知システム開発) と「MyBook V」(高知システム開発) の組み合わせ

(3) 「プレクストーク PTR3」(シナノケンシ)

3. 電子書籍のアクセシビリティ

3-1. 障害者の電子書籍へのアクセス

・電子書籍サービスに必要な機能：テキスト形式での出力、音声読み上げ機能、文字拡大機能、文字と地の色の反転機能、マルチメディア機能（映像や音声）、点字ディスプレイへの出力機能

・現在の電子書籍の主な環境：iPhone や iPad などの iOS 端末や Android 端末が中心で、

パソコンや従来の携帯電話での利用を想定していないものが多い

- ・ 視覚障害者の電子書籍購入サイトの現状：Kindle（電子書籍）や audiobook.jp（オーディオブック定額制）など限られた利用が中心
- ・ 公共図書館での障害者の電子書籍の利用は現状ではほとんどない
- ・ 公共図書館の電子書籍サービスのアクセシビリティは実験段階以下の状態

3-2. 公共図書館の電子書籍サービス - 障害のある利用者からの視点

- ・ コンテンツが少なく、古いものばかりで、サピエ図書館ほどの魅力を感じない
- ・ 日本語の音声読み上げには誤読が多く専門書の場合、理解することが難しい
- ・ 合成音声による読み上げを長く聞いていると疲れる
- ・ テキスト抽出できないと点字表示を用いて利用する視覚障害者や盲ろう者がアクセス困難
- ・ 1文字ずつ音声や点字で漢字の確認ができない
- ・ 閲覧ソフト（ビューア）が使いにくい
- ・ DAISYのように検索や見出しやページへのジャンプが自由にできない

3-3. 筆者の使用したことのあるもしくは過去に使用した公共図書館の電子書籍サービス

- ・ 大阪市立図書館の電子書籍サービス（NetLibrary）
- ・ 三田市立図書館の三田市電子図書館（DNP、図書館流通センター）
- ・ 堺市立図書館の電子図書館（DNP、図書館流通センター）
- ・ 武雄市図書館の武雄市 MY 図書館
- ・ 山中湖情報創造館の電子図書館サービス（JDLS LibrariE）

4. ICT を活用した障害者サービス

- ・ 音声・点字・拡大画面を用いた Web-OPAC やインターネットコンテンツの利用
- ・ 音声読書機・拡大読書機の利用
- ・ 点訳ソフトや自動点訳ソフトの利用
- ・ DAISY 再生機器や DAISY 再生アプリの利用
- ・ サピエ図書館や国立国会図書館の視覚障害者等用データ送信サービスの利用
- ・ オンラインデータベースの利用

5. 参考 URL

- ・障害者サービス担当職員向け講座 ブックマーク（障害者サービスに関する各種情報、資料や機器などの関連ホームページへのリンク集）
URL:<http://www.j7p.net/ronbun/20181121bookmark.html>
- ・障害者サービス担当職員向け講座 障害者サービスの始め方 - PR の方法、具体的サービス事例、アクセシビリティを中心に-
URL:<http://www.j7p.net/ronbun/20181121jirei.html>
- ・障害者サービス担当職員向け講座 具体的サービス事例
URL:<http://www.j7p.net/ronbun/jirei.html>
- ・都道府県立図書館リンク集（障害者サービスの紹介を中心に）
URL:<http://www.j7p.net/pub/link/pref.html>
- ・NTT 出版. 「【ICT 体験レポート】第 5 回：大阪府立中央図書館 障がい者サービスルポルタージュ. 夢にチャレンジ 夢への懸け橋 ドリームアーク. 大阪, NTT 西日本ルセント, 2014-11-04, 12P.
URL:<http://www.dreamarc.jp/archives/2477/>
- ・岡田重信・西林正人・杉田正幸. 視覚障がい者サービスの現在. 特集 大阪府立図書館の障がい者支援サービス：歴史・現在. 大阪府立図書館紀要. NO. 40, p. 35-43 (2011-03)
URL:<http://www.library.pref.osaka.jp/uploaded/attachment/420.pdf>
- ・地方公共団体情報システム機構. 大阪府 障がいの有無を問わずだれもが利用できる図書館 知識と環境と工夫次第！ 視覚に頼らない読書とウェブアクセス. 特集 ICT を活用した公共施設運営. J-LIS = ジェイリス：地方自治情報誌. 2(3)=531, p. 4-8 (2015-6)
[URL:http://ci.nii.ac.jp/naid/40020496492](http://ci.nii.ac.jp/naid/40020496492)

杉田 正幸（すぎた まさゆき）

大阪府立中央図書館読書支援課障がい者支援室

日本図書館協会障害者サービス委員会関西小委員会委員長

日本図書館協会認定司書第 1138 号

E-mail:sugita@library.pref.osaka.jp